

第40回 緑の市民懇話会 会議録（要旨）

1 日 時 平成29年 3月 1日（火） 10:00~12:00

2 場 所 生駒市役所 401・402会議室

3 出席者

（委 員） 久座長、下村委員、磯貝委員、稲葉委員、大鋸委員、倉品委員、山田陽子委員
山田勲委員、北島委員

（事務局） 林みどり公園課長、家元花のまちづくりセンター所長、石田みどり公園課課長補佐、
中川みどり公園課副係長、三坂みどり公園課主任

4 議事内容

1 開 会

2 案 件

（1）「花と緑の景観まちづくりコンテスト」について

（2）その他について

5 議事録

（1）「花と緑の景観まちづくりコンテスト」について

【事務局説明】

- ・皆様に採点いただき、取りまとめたものが、資料1-1（第9回花とみどりの景観まちづくりコンテスト 現地審査総合結果）である。
各団体、項目ごとの採点合計を、採点人数で割ったものを点数とし、その8項目の合計が季節合計となっている。また、各部門で季節ごとの最高得点に網掛けをしている。
あと、年間合計、部門順位、22 団体全体の総合順位を記載している。
これらの現地審査の結果をもとに、ご検討ご協議いただき、最優秀賞、優秀賞、各部門での各賞の決定をお願いしたい。
- ・ご希望の現地写真のスライドを流すので、審査の参考にさせていただきたい。

【委員意見等】

- ・全体から最優秀賞と優秀賞を各 1 点、それぞれの部門ごとに景観賞とまちづくり賞を各 1 点ずつ選考していく。（発言）
- ・コミュニティ部門の③⑥⑦、学校部門の②③⑦⑧⑨のスライドを見る。

<選考：最優秀賞、優秀賞>

- ・最優秀賞は、総合順位1位である、コミュニティ部門①でよろしいか。(発言)
- ⇒異議なし。
- ・優秀賞は、総合順位2位である、コミュニティ部門⑥でよろしいか。(発言)
- ⇒異議なし

<選考：コミュニティ部門>

- ・①が最優秀賞に、⑥が優秀賞に決定したので、次に点数が高い上位2件は③と⑦の順である。この2団体に賞をさしあげてよろしいか。(発言)
 - ・②が僅差であるので、選考に入れてもよいのでは。(発言)
 - ・⑦は、起伏のある土地に比べ平らであるためにデザイン性をだすことは難しいが、人目につき、管理が難しい広い土地に、ハクウンボクも植えて頑張っているので、入賞を希望する。(発言)
 - ・点数が出ているので、それを覆す理屈が必要である。(発言)
 - ・③の点数は他に比べて高いので、確定でよろしいか(発言)
- ⇒異議なし
- ・⑦は、遠い所から管理に参加している大変さもある。(発言)
 - ・年間合計で、50点台と60点台では何がどう違うのか、項目を見れば推測はつく。60点以上では、すべての項目で一定以上の点数を積み重ねており、50点台は、いずれかの項目が弱い。ということで、今までの意見から、デザイン性の項目で高い点数の③が「景観賞」⑦が「まちづくり賞」でよろしいか。(発言)
- ⇒異議なし

<選考：学校部門>

- ・点数では、⑦が1位、②が2位となっている。この2団体が入賞でよろしいか。(発言)
 - ・⑦と②のスライド写真を見る。
 - ・②は苗づくりからしているときいている。(発言)
 - ・⑦の点数が高いのは、今年初めてネリネが咲いていて印象が大きかったからでもある。(発言)
 - ・大きい印象を与えることは、高得点につなげるテクニックである。(発言)
 - ・②は広い面積を手間をかけて頑張っている。(発言)
 - ・まちづくりでの取り組みでは、②のほうが活動している。(発言)
 - ・②の春の点数が低いのはなぜか(発言)
- ⇒花壇の場所を変更し、植え替えの時期であったために、途中の感があったと思われる。(発言)
- ・これまでの意見から、⑦が「景観賞」、②が「まちづくり賞」でよろしいか。(発言)
- ⇒異議なし

<選考：事業所部門>

- ・点数的にもそれぞれ50点越えしていて問題なく、①②の入賞でよろしいか。(発言)
- ⇒異議なし。

- ・②は、代表の方の話を聞くことができ、手作り感がありおもしろい。①は土の入替え時に業者が入っていた。(発言)
- ・①に「景観賞」、②に「まちづくり賞」でよろしいか。(発言)

⇒異議なし

<選考：個人住宅部門>

- ・点数では、③が1位、①が2位となっている。(発言)
- ・①②③のスライド写真を見る。
- ・花とみどりなのに、花の写真が多すぎる。(発言)
- ・③は、樹木の手入れがされている。(発言)
- ・あまり差がない。(発言)
- ・手入れの大変さは①である。(発言)
- ・②は、お子さんと種から育て作業をされているし、近所に花植えを波及させている。(発言)
- ・②は、これまでに賞をもらっているか。(発言)

⇒4回目「ほのぼの賞」、5回目「最優秀賞」、6回目「まちづくり賞」

- ・上位2件から、参加人数が多い①がまちづくり賞、デザイン性に優れている③が景観賞でよろしいか。(発言)

⇒異議なし。

<選考：その他>

- ・全体的にレベルが上がってきているので、選考にもれたものでも賞に値するものがある。(発言)
- ・満点が72点で、50点以上だと7割とれているので、賞をさしあげる対象にしてもよいと思う。(発言)
- ・学校部門の点数が低い。PTAや保護者が関与していることは凄いことで大事である。その凄いをやっている所には、まだ芽がある。景観的な話になると外から見えにくいので、弱くても仕方がないと思うが、頑張っている。生駒市はこれまでも種や苗を配っているようだが、もっと手厚い手だてができないか。春は頑張っているが、途中でだめだという所は点数が低い。しかし低くてもどこかで凄い活動をしているのであれば、賞の候補としての値はあると思う。その場合、賞名を考える必要がある。そういった観点でも候補をみていけばよいのではと提案する。(発言)
- ・50点を超えるのは、そこそこのレベルであると感じる。今回の入賞以外で50点以上の団体は、コミュニティ部門②⑧、個人住宅部門②の3団体で、奨励賞を差し上げてよいのでは。この基準を決めておくと、来年度も7割以上の得点を獲得した団体には奨励賞とすればよいのでは。(発言)
- ・初参加で、ある程度のレベルなら賞をさしあげてほしい。(発言)

⇒コミュニティ部門④⑧が初参加である。

- ・これらの意見から、コミュニティ部門②⑧、個人住宅部門②の3団体に、奨励賞を差し上げてよろしいか。(発言)

⇒異議なし。

- ・コミュニティ部門④は50点未満であるが、地元の方々が毎週火曜日に、また、毎月第4土曜日には、子どもも含め多世代で活動をしている。(発言)
- ・決して華やかではないが、花を植えることによって、公園に色が増えた。(発言)
- ・12月の沢山のリースが印象に残っている。それは近隣の山で材料を調達して皆で作成したものである。(発言)
- ・街区公園のありようを提案しているような気がする。(発言)
- ・将来のためにも、こういう団体に賞を差し上げてよいと思う。(発言)
- ・得点では、入賞団体に次ぐ点である。(発言)
- ・皆様のご意見から、コミュニティ部門④は、多世代がかかわりながら管理し、味気なかった公園に色を与えたということで、努力賞を差し上げてよろしいか。(発言)

⇒異議なし。

- ・学校部門の点数は低いが、違う賞をつくるなどして、低くても何か、賞状だけでもあると良いのだが。(発言)
- ・学校部門⑧は、春は低いが、秋は高い点数になっている。(発言)
- ・賞を濫発しすぎるのはどうか。(発言)
- ・学校部門の点数が低い要因は何か。(発言)

⇒環境教育の取組みへの仕組みが機能していない。文部科学省が「コミュニティスクール化」を推奨している。これは、地域が学校の運営にかかわるというもので、普及していくと先の取組みへの仕組みが機能していくはずである。(発言)

- ・学校部門の応募数はどうか。(発言)

⇒多いほうであり、この数を見ると活動の芽がある。材料の提供や貸し出し等、それをどのように支えていくかが課題である。

先生は忙しく、地域がかかわることに消極的な先生が多いのも事実で、やる気のある先生はいづれ転勤となり、継承が難しい。

- ・当コンテストに比べ、みどりのカーテンコンテストの学校関係の応募が多いのはなぜか。

⇒みどりのカーテンコンテストは、手間がかからず、ゴーヤは食べることができ、気温が下がるメリットがある。一方、当コンテストは、敷居が高く、花は手間がかかるわりに、学校へのメリットがないためと思われる。(発言)

- ・ふろーらむの業務として花と緑のボランティアを募り、各学校に派遣するというのもできると思う。(発言)
- ・以前ふろーらむでは、花を育成するボランティアを広報で募集するとともに、既登録者にはハガキで募集の案内が送られていたが、現在そのハガキが届かないという声をきいた。ふろーらむに足を運ぶ機会を増やすことによって、学校派遣のボランティアにつながるのではないか。(発言)

- ・現在、広報での、花を育成するボランティア募集記事は、少数の募集人数と記載されているが、それだと応募意欲が減退する。募集人数は記載しないほうがよい。(発言)

<結果>

- ・最優秀賞 コミュニティ部門①
- ・優秀賞 コミュニティ部門⑥
- ・部門賞（景観賞・まちづくり賞）
 - コミュニティ部門（景観賞：③ ・ まちづくり賞：⑦）
 - 学校部門 （景観賞：⑦ ・ まちづくり賞：②）
 - 事業所部門 （景観賞：① ・ まちづくり賞：②）
 - 個人住宅部門 （景観賞：③ ・ まちづくり賞：①）
- ・奨励賞 コミュニティ部門②、コミュニティ部門⑧、個人住宅部門②
- ・努力賞 コミュニティ部門④

- ・以上のとおり、緑の市民懇話会の意見として市へ報告したいが、報告に関してご一任して頂いてよろしいか。（発言）

⇒異議なし。

<今後の予定>

【事務局説明】

- ・受賞者は5月21日開催の「第11回花・緑まちづくりフェスタ in ふろーらむ」での表彰を予定しており、その節は当懇話会を代表して久座長に講評をお願いしたい。（発言）
- ・平成29年度の「第10回花と緑の景観まちづくりコンテスト」について、資料1-2応募要領（案）及び、審査要領（案）を作成している。今年度の内容と変更はないが、現地審査の項目、審査時期や回数等はいかがか。（発言）

【委員意見等】

- ・応募要領は今年度と変更なしでよろしいか。（発言）

⇒異議なし。

- ・写真が間に合わない団体があるようだが。（発言）

⇒補足で対応している。

- ・毎年申しあげているが、花だけでなく緑も積極的に評価していただきたい。
花は手間がかかっているのもわかるが、花と緑と建物が合わさって総合的なまちなみ景観となるので、積極的に緑を手入れしている箇所の評価を次年度もお願いしたい。（発言）
- ・市の緑化景観に関して、事務局は予算をとってくれているのか。29年度予算を見ていたが、メンテナンスの費用は出ているようだが、新規事業の項目がないように思う。（発言）

⇒街路樹では枝の手入れと、落葉の少ない木への植え替え。公園では落葉の苦情が多く、枝の剪定等をおこない、緑地では、自然にまかせ手をつけない方針だが、近隣から落葉の苦情が多く、最低限の手入れをしている。生垣助成制度もおこなっているが、件数は増えていない状況である。

- ・当懇話会で、今年度の実績報告と、次年度に向けての新規施策事業の検討をしていた年もある。

市全体の方針で、緑化をどれくらい積極的に取り組めるかにもよるが、緑の基本計画の見直しが必要な時期でもあり、都市公園法が改正され、借地公園や立体的に公園を積めるようになっており、新たな取り組みの可能性が広がっている。その中で、市民の森もこの場で検討し、新たな施策をしていた時期もあった。生駒市は花と緑に積極的な市であるので、予算も人員も限られてはいるが、全国的な他の市町村の動きをとりあげながら、毎年1つとは言わないが、新たな事業施策に取り組んでいただきたい。(発言)

⇒今国会で、都市緑地法が改正されるときいている。市が管理する公園の管理の仕方を、緑の基本計画にとり入れる規定になり、それに基づき地域の特性に応じて管理していくことになる。現在の緑の基本計画は32年度が計画年度終了なので、これまでの実績と状況を視野にデータ化しながら、次の緑の基本計画策定にむけて取り組み始める。それに基づいて管理や整備をいたしたい。

緑の基本計画策定については、よろしくお願いいたしたい。

- 荒れている緑地を、市の方針が決まるまで、市民緑地にするなどのアイデアがないのか。
市の緑地の管理は主に4つのボランティア団体がおこなっているようなもの。市街化区域の緑のレベルは高く、緑の多い生駒市と言われているが、市の緑地の管理は市民に頼っている状態である。もっと予算を増やし、整備するボランティア団体や人員を増やせばよいと思う。(発言)
- ストーリーとしては難しい。市の方向性が定まってから、それに基づいて日々の管理をどうするかでないと、市も動けないと思う。(発言)
- 大きな緑地を整備しようとするなら、いろいろな方面から応援を頼んで組織づくりから始める必要がある。(発言)
- 今日はまだ報告事項があるので、大きな緑化施策は、また次年度以降に継続して考えていければと思う。(発言)
- 箕面市は、緑化税がある。(発言)

【事務局説明】

- 「第10回花と緑の景観まちづくりコンテスト」について、応募要領及び審査要領に基づき実施させていただく。委員の皆様には審査等について、引き続きよろしくお願いいたしたい。尚、当コンテストの募集は、広報いこまち4月1日号に掲載する。
- 応募者の技術的な向上があり、評価の違いがよりわかるように、現地審査個票の評価を、これまでの0～3の4段階を、次年度からは、0から4の5段階に変更する提案をいたしたいが、いかがか。

【委員意見等】

- 現地審査個票の審査評価を5段階に変更してよろしいか。(発言)

⇒異議なし。

(2) その他について

【事務局説明】

- ・資料2-1「花と緑のわがまちづくり助成金交付要綱（案）」
3年ごとに改正しており、その期限が切れるため期限を延長する。

【委員意見等】

- ・内容的には継続するということだが、期限の延長をしてよろしいか。（発言）
⇒異議はないが、交付件数等の実績報告資料を添付していただきたい。

【事務局説明】

- ・実績として、28年度予算額638万円計上、申請件数105件、申請額は予算枠いっぱいである。

【委員意見等】

- ・上限8万円は少ない。（発言）
- ・この助成金は、花と緑のわがまちづくりに対する気持ちを高めるきっかけづくりで、後々は地域で費用を負担いただくことになるが、その第一歩であると思う。（発言）

【事務局説明】

- ・「第11回花・緑まちづくりフェスタ in ふろーらむ」開催について
日時 平成29年5月21日 午前10時～午後3時
第9回花と緑の景観まちづくりコンテスト表彰式 午前9時30分～午前10時
場所 花のまちづくりセンターふろーらむ（臨時駐車場 真弓小学校）
実行委員会を立ち上げ準備している。広報いこまち、ポスター、チラシで開催を案内。また、広報いこまちで、イベントサポーターも募集する。
近隣の長弓寺もイベントを開催する。別のイベントだが、一緒に広報活動をし、相乗効果による来場者数の増加をねらう。

【事務局説明】

- <花とみどりの楽校（気づき編）・（里山編）の報告>
- ・28年度は、前年度に引き続き1回単発の（気づき編）4回と、実際に里山を整備するボランティアを育てる（里山編）連続5回講座の内3回をおこなった。
 - ・スライド写真を流しながら、各回の様子やアンケート結果等を説明。

【委員意見等】

- ・他の市町村でもこのような取り組みをしているのか。（発言）
⇒同じような取り組みをしている。しかし、子ども向けの取組みは生駒らしい。
- ・森の幼稚園や、山の幼稚園とのコラボも良いのでは。（発言）
- ・楽しい講座の終了報告はしているのか。（発言）
⇒ホームページにしか報告はしていない。
- ・告知だけでなく、楽しい講座の終了報告もすれば、それを見た方が行けば良かったと次回につ

ながるのでした方が良い。告知より報告のほうが重要である。(発言)

- ・市民の森の情報提供もしてほしい。(発言)

【事務局説明】

- ・平成29年5月上旬に「第10回花と緑の景観まちづくりコンテスト」第1回目の現地審査を予定している。

<次回の日程について、平成29年4月24日(月)時間と場所は後日連絡>